

夕張川新水路完成90周年記念パネル展

◆ 夕張川新水路の完成90周年を記念して、広く市民や観光客の皆様に夕張川新水路が果たす役割を広く知ってもらうため、南幌町と長沼町においてパネル展を実施しました。

【夕張川新水路の整備】

夕張川はかつて、蛇行しながら千歳川に合流し、合流後に石狩川に注いでいましたが、千歳川との合流部は洪水の常襲地帯でした。そこで、夕張川を千歳川から切り離す、新水路を掘削する治水工事が行われました。この工事により、流域の通常時の水位が低下し、客土（搬入土）の効果とあいまって、流域の土地利用（農地開発・市街地の拡大など）が進みました。

箇所図



夕張川新水路



夕張川新水路 整備期間
大正11年～昭和11年

※パネルの内容については右のQRコードからご覧ください。
https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ebet_u_kasen/ojk3ss0000003
cvt-att/ojk3ss0000003d15.pdf



【保原元二について】

明治43年からの第1期拓殖計画において、度重なる洪水被害に苦む夕張川の調査を行い、夕張川新水路計画を立案したのが道庁から派遣された技師の**保原元二（ほばらもとじ）**です。保原氏は、技師としての生涯を夕張川新水路工事に捧げ、現在も南幌町更生の恩人として語り継がれています。



南幌町更生の恩人
元札幌治水事務所長 保原元二氏
(現在の札幌開発建設部の前身となる組織)

【パネル展概要】

■ 期間：令和8年6月23日～7月10日

■ 場所：①南幌町ふるさと物産館「ビューロー」1F

②南幌町生涯学習施設「ぽろろ」1F

③長沼町総合保険福祉センター「りふれ」1F

※南幌町「治水感謝式」の会場でも展示

『治水感謝式』は、南幌町で毎年7月1日に執り行われている式典です。夕張川新水路の掘削工事に携わった方々や、治水工事の成功に感謝するため、7月1日を南幌町治水感謝の日としています。



～パネル展の様子～



南幌町生涯学習施設「ぽろろ」1F



南幌町ふるさと物産館「ビューロー」1F



長沼町総合保険福祉センター「りふれ」1F



南幌町治水感謝式 会場